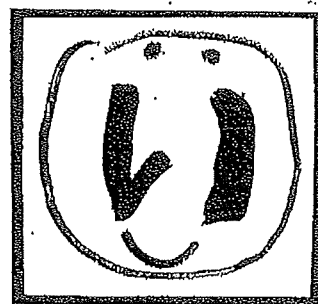
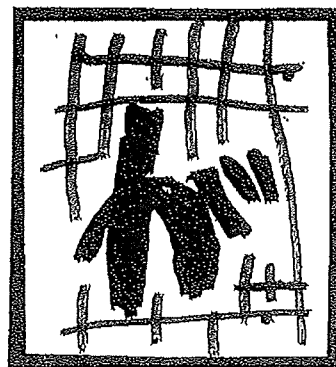
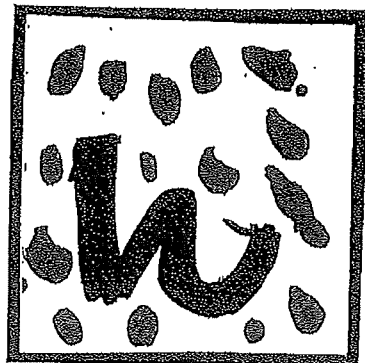
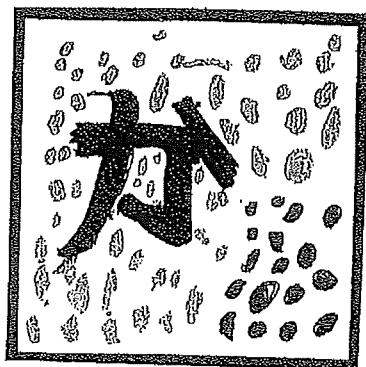
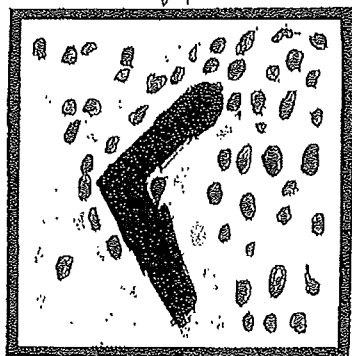
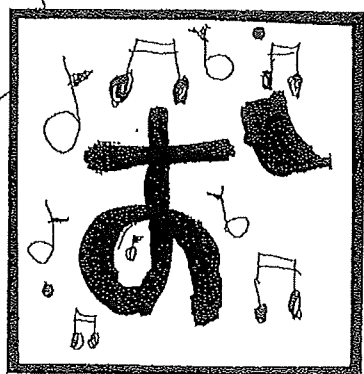
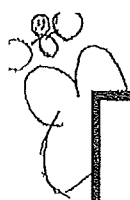


令和7年12月13日(土)

場所：松原市文化会館

午前の部： 9時30分～12時 (Bグループ)

午後の部： 13時30分～16時 (Aグループ)

♪音楽会プログラム♪

☆午前の部（Bグループ） 9時30分～12時

☆午後の部（Aグループ） 13時30分～16時

1, ご挨拶

2. 歌 「あおいそらにえをかこう」

年中組

3, ・歌 「北風小僧の寒太郎」

・歌 「大きくなりたい」(オリジナルソング)

年長組

4, ・音とリズムで遊ぼう

「モシャモシャくんと Let's ダンス！」

「大きな栗の木の下で」

年少組

5, ・音とリズムで遊ぼう 「電車にのっておでかけにいこう！」

・バチ演奏 「線路は続くよどこまでも」

年中組

6, 楽器遊び 「どんぐりころころ」

年少組

7, 器楽合奏 「うたえバンバン」

年長組

8, ベルと鍵盤ハーモニカによる合奏 「いとまき」

年中組

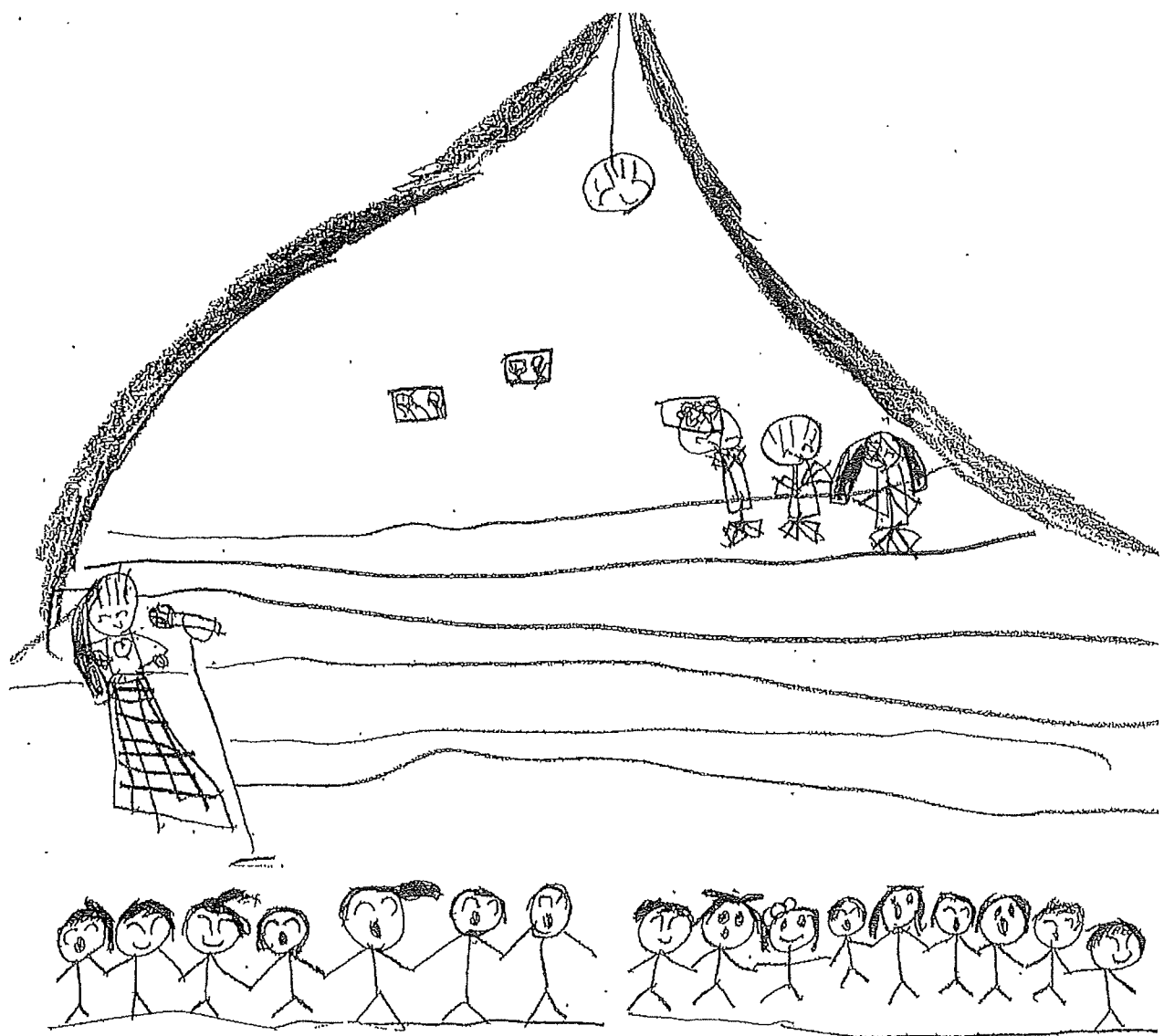
9, エイトビートと言葉で遊ぼう～

鼓隊演奏 「双頭の鷺の旗の下に」

年長組

10. 閉会のプログラム

みんなで歌おう 「こぎつね」





年中組になり、歌うことがますます好きになった子ども達。コーナー遊びの時間にも自然と口ずさむほど、この曲がお気に入りの一曲になりました。

外遊びでも、空に視線が向くことが増え「今日の空、絵描けそう！」「雲が船みたい！」と感じたことを友達に伝えたり、芝生に寝転んでゆったり空を見上げる様子もあります。日常の中で見つけた空の景色が歌の世界と繋がっているようです。歌詞の情景に合わせ、明るい空では元気よく！夜の星が輝く空では優しい歌声と、情景をイメージし、歌声を調節しながら歌っています。

また、サビの部分では「あしたは～♪」「えい！やー！」とクラスごとにパートに分かれ、掛け合いを楽しみます。この部分は特にお気に入りの、子どもたち自身も“冒険へ出発する気持ち”を込めて歌っています。繰り返し歌っていく中で、優しい声や元気になる声をお客さんに届けたいと、歌声をより意識する姿が見られました。

当日は、子どもたちが想像した空の世界を思い描きながら、元気いっぱいに歌声を届けます。子どもたちの想像力が広がる、年中組らしい伸びやかな歌声を、ぜひお楽しみください。

童謡『北風小僧の寒太郎』 オリジナルソング『大きくなりたい』

『北風小僧の寒太郎』

寒太郎に会ってみたい子ども達。どこにいるか分からない寒太郎に会うために、声が遠くまで届くように力いっぱい歌います。歌詞の中にある「寒太郎」という可愛い掛け声にもご注目ください。

オリジナルソング 『大きくなりたい』

今年のオリジナルソングのテーマは『出来るようになったこと』です。年少さんからの幼稚園生活を振り返りながら、「こんなに大きくなった！」「こんなことも出来るようになった！」と自分たちの成長を実感する子ども達が微笑ましく、同時にとても頼もしかったです。

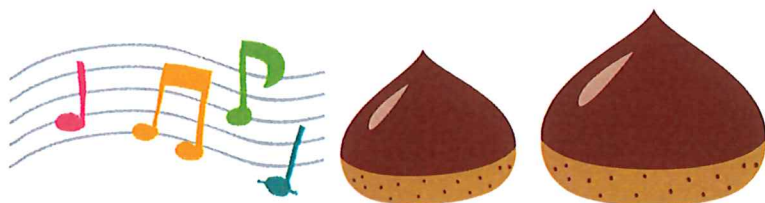
年長組になって、歌詞から情景を思い浮かべて歌ったり、掛け声など掛け合いを歌の中で楽しんだり様々な歌い方が出来るようになった子どもたち。何度も歌う中で歌詞に思いを込めて強弱をつけてみたり、優しく歌いあげたりする姿が見られるようになりました。そんなみんなの思いが詰まったオリジナルソング。子ども達の年少さんからの成長も思い浮かべながら、ぜひ歌声にご注目下さい。

「もしやもしやパワーで Let's dance!」 「大きな栗の木の下で」



朝の会ではピアノや様々な曲に合わせて動物模倣をしたり、リズムを感じて遊んだりと様々な音楽遊びを行っています。子ども達は音楽を聴くと「こんなことしたい。」と想像が膨らんでくるようで、子ども達の言葉から遊びが展開されていくことも多くあります。今回の音楽会では音を聴きながら表現することを楽しむ姿や子ども達と保育者とのやりとりをご覧いただけたらと思います。音楽会の遊びの中では、大好きなもしやもしやくんが登場します。

「もしやもしやくんの歌」を歌いながら音の高低を感じたり、真似っこ遊びをしたりと、思わずクスッと笑ってしまうような子ども達の遊びの姿をぜひお楽しみください。また、ピアノのメロディーに合わせて「は・あ・い♪」とお返事する遊びでは音程だけでなく、音の大小やリズムを意識して身体を付けて表現する姿があります。最近では、楽しい顔、怒った顔、お腹が空いた顔など表情を付けてお返事をすることも大好きです。子ども達が声、身体、表情、全身を使って楽しむ姿は必見です。最後は心を込めて『大きな栗の木の下で』を歌います。初めての音楽会、初めての舞台に緊張する姿もあるかと思いますが、大好きな友達と心を合わせて歌う子ども達にどうぞ温かい拍手をお願いいたします。





年中組になり、ドレミの音階に親しみ、ハンドサインで表現したり、バチ遊びを楽しんできた子ども達。遠足でみんなも乗った汽車に、ドレミファソのお客さんが乗っています。音を聴き分け、誰が降りたのか考えたり、降りた音は心の中で歌う心唱にも挑戦しています。今度は、音符ちゃんが汽車に乗ってきます。ピアノの拍を聴き分けて、バチでリズムを刻みます。

最後に『線路は続くよどこまでも』の曲に合わせてバチ演奏をします。音符ちゃんと一緒に汽車の旅をリズムに乗せて楽しめます。当日も元気いっぱい、心を一つに演奏を楽しむ姿を、ぜひご覧ください。

き き きしゃが き き きたよ

きてきをならし けむりをだすよ

ぽー しゅっぱつだ×2

レールを はしり とおーくへ いこう

〇〇組ヤー！ 〇〇組ヤー！ 〇〇組ヤー！

〇〇組の箇所はクラスごとに
分かれて歌います♪

「どんぐりころころ」



1学期から音楽遊びや朝の会のお返事の時間などに、様々な楽器に触れて親しみを深めてきた子ども達。楽器を沢山鳴らすことを十分に楽しみ、今度は「先生をびっくりさせちゃおう！」と、先生が見ていない間は楽器を鳴らして、先生が振り返ると楽器を隠すというやり取りをしながら “楽器を鳴らさない面白さ” に気付き、静と動の両方の動きを意識した遊びを楽しんでいました。本番では、このやり取りの中で、保護者の皆様にも参加して頂ける時間もありますので、ぜひお楽しみ下さい♪遊びの中で楽器の正しい持ち方や鳴らし方も身に付けてきた子ども達は、「お腹が空いた先生のために、みんなで美味しいものを作ってあげよう！」と色々な言葉のリズム打ちも楽しんでいました。順番が入れ替わったり、食べられないものが入っていたり…様々なパターンでのリズム打ちに挑戦します。最後は慣れ親しんだ『どんぐりころころ』の曲に合わせて自信たっぷりに楽しむ子ども達の姿にもご注目下さい！

曲（リズム）に言葉を当てて演奏します。

「どんぐりころころ」

※ { ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
キラキラさせて みんなで食べよ }

○○○には、
食べ物の名前が
入ります♪

（※食べ物の順番を入れ替えて4回繰り返します）

小さくなって大ジャンプ イエイ♪

『うたえバンバン』



今年の合奏曲は 1 学期から子どもたちが大好きな曲、『うたえバンバン』です。鍵盤ハーモニカとコンガ、ボンゴ、シンバル、ハイハット、大太鼓、小太鼓の 7 種類の楽器を使って演奏します。

メロディオンでは年長さんになって初めて、「ラ」と「シ」に出会い、さらに、1 オクターブ高い「ド」の音が登場しました。はじめは、「あれ！？先生！指足りなくなった！」と、初めて弾く音や指の入れ替えに戸惑う姿もありましたが、少しずつ「できた！」を積み重ねていきました。今では自信たっぷり演奏する姿が見られるようになっています。

自分の音だけに集中していると、ついつい演奏が速くなったり、みんなと音がずれてしまったりするのですが、練習の中でじっくり友達の音に耳を傾けながら「じっくり聴く」経験も重ねてきました。

今日は、一緒に舞台に立つ仲間の音をよく聴くだけでなく、リズムやメロディーを感じながら演奏します。子ども達の奏でる音のハーモニーを一緒に楽しんでくださいね。



「いとまき」



今年は、『いとまき』の曲で合奏に挑戦します。

年中になって初めて触れた鍵盤ハーモニカ。息を吹きながら鍵盤を押すと音が出るのが楽しくコーナー遊びの時間に沢山吹いていました。そこから、白鍵と黒鍵があることを知り、「今日は白いところでお散歩しよう。」「今日は黒いところだけで弾いてみよう。」と、音の違いも知りました。少しずつ、「1の指はドですよ〜♪」と歌いながら指番号で弾いたり、簡単な曲が弾けるようになると皆の前で発表会をしたりと、様々な遊びを行ってきました。今では朝の会などで「ひげじいさん弾きたい!」「10人のインディアン弾いて!」とリクエストが入ることも。子ども達にとって親しみのある楽しい楽器の一つになっています。

ハンドベルは初めて見た時から「きれい!」と、様々な色に興味津々でした。初めは好きな色のベルを持って音を鳴らすことを楽しんでいた子ども達でしたが、遊ぶうちに、「ドレミって聞こえる!」「振ったらいっぱい音なる!」と音階があることや、様々な音の鳴らし方ができることに気付き始めました。また、色々な鳴らし方をする中で「きれいな音の鳴らし方」「鍵盤ハーモニカとの音の交わり」も意識しながら素敵な音色をお届けします。

子どもたちの一生懸命な表情や素敵なハーモニーに注目しながらお楽しみください。

年長 エイトビートと言葉で遊ぼう～鼓隊演奏～

「双頭の鷺の旗の下に」



今年は「双頭の鷺の旗の下で」という曲に合わせて演奏を行います。従来のようなバチを使った演奏だけでなく、太鼓の様々な部分を使ったリズム演奏も楽しめます。普段の遊びの中にある「音を探す楽しさ」が、演奏にも生きていることを感じていただけますと嬉しいです。

はじめは椅子を楽器に見立てて先生のまねをして遊んでいた子ども達も、気付けば「こんなリズムはどうか？」と様々な音の出し方を試し始め、側面や裏を叩いたり揺らしたりと、遊びがどんどん広がっていきました。いよいよ太鼓に触れ始めてからは、曲と自分たちのリズムが合わず苦笑いする場面もありましたが、何度も挑戦し、耳を澄ませ、体でリズムをとる姿はまさに真剣そのものです。

練習の中で、音楽と自分たちのリズムがぴったり重なった瞬間「あ、合った！」という小さな達成感が全身から溢れていました。

本番では子ども達が刻むリズムだけでなく、一音一音に向き合う真剣な表情にもぜひご注目ください。

